

NADPZ

November Newsletter



種まきの時期がやってきた

ザンビアには一般的に3つの季節があります。5月から8月までは涼しくて乾燥し、9月から11月までは暑くて乾燥し、12月から4月までは暖かくて雨が降ります。

11月、12月、1月は農民にとって非常に忙しい時期であり、11月に雨が降り始め、種まきの準備を始める時期になります。

写真は、ムババラ、ペンバ、チカンタの3つのプロジェクトサイトで、それぞれ自然農法圃場の準備しているところです。畑が耕され、準備ができましたら、ボランティアのメンバーが在来種のトウモロコシと落花生の種を播きます。

今年はメンバーの一人が5kgのヒマワリの種を提供してくれました。これもまた、ムババラ地区のプロジェクトサイト圃場の一画で自然農法により栽培されます。

10月末の最初の雨の後、雨は降らず、暑いので、雨が降り始め、私たちの土壌と土地を潤してくれることを願っています。



ついに卒業目前

ついに、カベタ職業訓練センターに最初に入學した学生が卒業する時が来ました。職業研修センターの扉は2020年2月にオープンし、10人の女子学生が縫製プログラムに、10人の男子学生が家具製作プログラムに登録しました。

家具製作と縫製のコースは1年間のコースですが、全国に及んだ新型コロナウイルスによる制限のため、職業訓練センターも度重なる閉鎖を余儀なくされ、コースは2年間にわたって実行する必要がありました。プロジェクトサイトから遠く離れた場所に住んでいる研修生もあり、2年間に及ぶ交通費が大きな負担になってしまった研修生もいました。

縫製クラス3人の研修生と大工クラスの6人の研修生は、11月に職業訓練校の教師と一緒にカロモ地区に旅して技術教育・職業及び起業家精神訓練機関（TEVET）の試験を受けた後、来週卒業します。TEVETは、多くの失業者が生産部門に参入できるようにするためのスキルを提供することにより、雇用の創出を促進するための技術教育および職業訓練を提供する政府認定機関です。

研修生は卒業すると、ザンビア自然農法開発計画（NADPZ）ユースチームの一員として、センターで学んだ大工仕事、縫製、自然農法のスキルをムババラ地区の他の青年たちと共有します。NADPZは青年育成のためのプログラムとして、複数のスキルを身につけた将来の農民を育て、彼/彼女等が自分自身と家族のために収入を得られる小規模ビジネスを始められるようになることを目指しています。

寮が完成しますと、プログラムに興味がありながら遠方に住んでいるために通うことができなかった若者たちも、コースに参加している間は職業訓練センターのある敷地内に住むことができるようになります。1月から始まる新入研修生に会えるのを楽しみにしています。



野生キノコの時期がやってきた

一年の中で私の好きな時期がやってきました！

高速道路や田舎の砂利道を運転していると、通りかかった車に手を振って、キノコの乗った皿やバケツを持っている女性や子供たちに出会います。

これらの美しくおいしい野生のキノコは、最初の雨が降ると（10月/11月）野生に成長し始め、翌年の1月/2月に成長を停止します。多くのザンビア人やこの国を訪れた外国人にとって真の珍味となっています。

キノコはまた、いくつかの農家にとっては小さな一時的な収入と栄養源でもあります。NADPZは5月に会員向けのキノコ研修会を開催しました。参加した農家は今やキノコのデモ農家になり、2022年に他の関心のあるメンバーを訓練して、キノコ・プログラムを拡大する予定です。

現在、プロジェクトサイトでは、カキとボタンマッシュルームの2種類が栽培されています。いつの日か、野生のキノコを育てて、一年中食べられるようにしたいと思っています。



地域について学び

女性は開発途上国において農業の重要な担い手です。食糧生産過程における女性特有の役割から、多くの女性は、栄養価が高く、地元に適応した作物の栽培、加工、および保存についての知識を持っています。